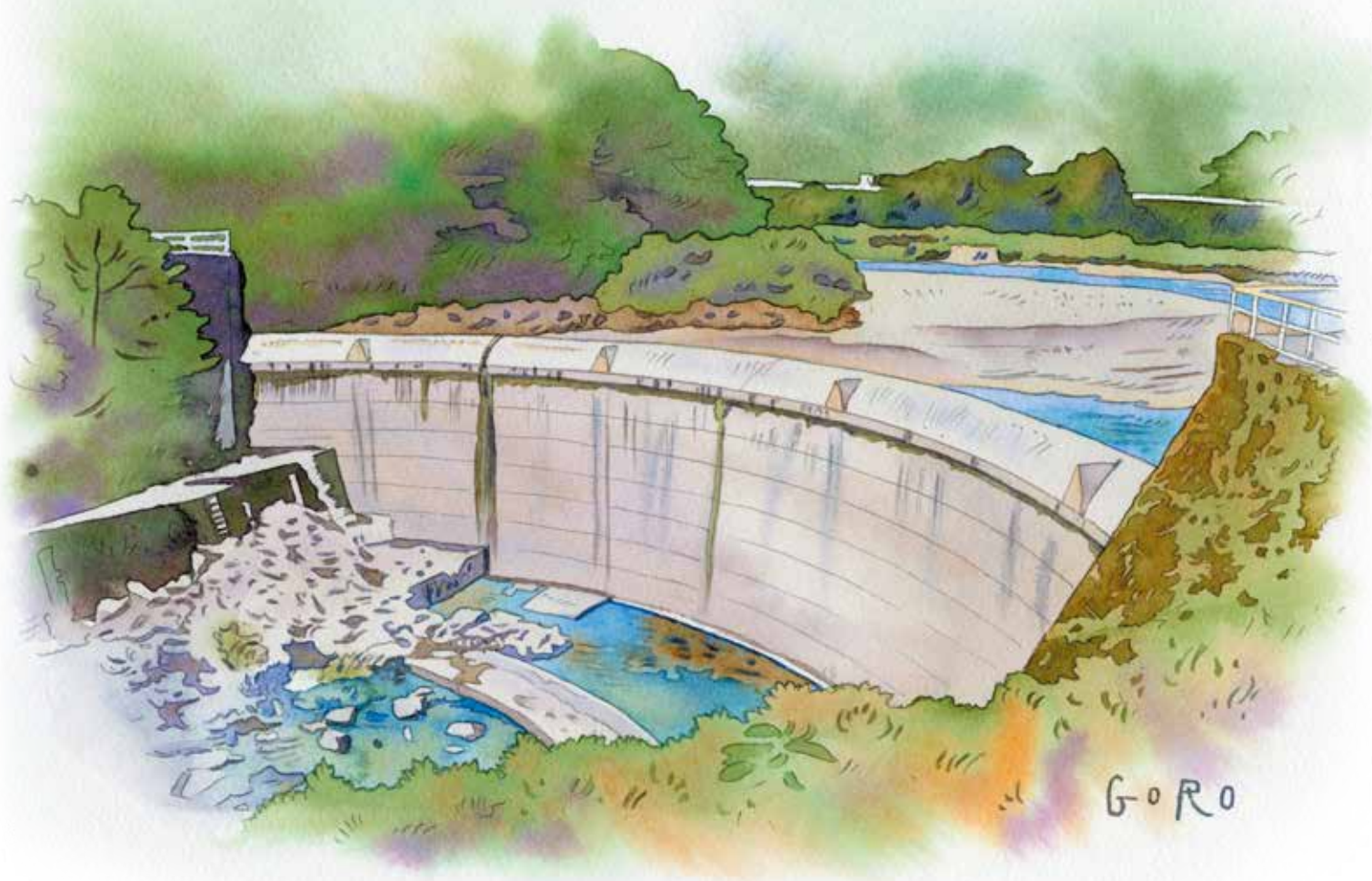


ちいさな 建設

宮の元ダム



山の中のラブリー

巨大ダムが圧倒的なスケール感で人々を惹き付ける一方で、多くの小さなダムも日常の治水や利水、発電などの役割を担っている。宮崎県北部を流れる耳川水系に一九六〇年に築造された九州電力の「宮の元ダム」。(一財)日本ダム協会のダム便覧によると、国内のアーチ式コンクリートダムのなかで堤高が二番目に低い小規模ダムとされる。その高さ一八・五メートル。六階建てビルほどの高さだ。堤長は八七・四メートル。コナダムマニアたちが一度は訪れたい名所だという。地元では九州電力がダムカードを配布している。

耳川支流の七ツ山川沿いを走る狭めの国道五〇三号を行くと、路面近くに弧を描く堤頂が現れ、溪谷と森林に溶け込むダムの姿はじつに可愛らしい。宮の元ダムで取水された水は導水路を通り、約四キロメートル東の支流にある諸塚ダムに注水され、更に七キロメートルほど下った本流の諸塚発電所へ供給。耳川水系だけでも八基のダムで水を集め、水車を回し、七つの発電所が稼働している。これら水力発電専用ダム巡りも人気だ。

アクセス 諸塚村から、国道503号を車で北上して15分ほど